

『 第 3326 回例会 』 2025 年 2 月 13 日(木) 司会 松田 圭司 会長

点 鐘

国歌斉唱

ロータリーソング 「奉仕の理想」

四つのテストの唱和 木村 貞昭 会員

ゲスト・ビジター 0

会 長 報 告

- ・ 特にございません。

幹 事 報 告

- ・ 特にございません。

委 員 会 報 告

◎出席委員会 西村 健 委員長

- ・ 次週ご報告致します。

◎ニコニコBOX委員会 伊藤 康朗 委員長

- ・ 加賀谷 政美 会員

町内の流雪溝時間に合わせて雪寄せを行うことなく、今日は乾杯から中締めまで楽しめます・・・・・・・・・・1口

- ・ 創立記念例会で全員ニコニコをお願いします・・・・・・・・・・各1口

例 会 行 事

創 立 記 念 例 会



【ご講話】 高久 臣一 パスト会長

この度、創立記念例会で何かお話をとの事、時間があれば二つのお話をさせていただきます。

初代会長長崎源之助さんは、明治25年鷹巣に生まれました。明治44年第1回秋田県給費生となり、東京府立工芸学校に入学。大正3年、県の指示により秋田木工株式会社に入社(工場主任)大正10年農商務省の海外実業練習生の試験に合格。アメリカに渡る。当時「排日」の中、赤木信太郎氏が経営する「カリフォルニア・ファニチュア・カンパニー」家具製造会社に入社活躍する。大正13年ヨーロッパに渡りオーストリア・ウィーンに滞在。ヨーロッパの家具について経営・技術修得に励む。そして滞在中の日本からの諸氏、留学生と交流する。そんな中、音楽の修業に来ていた女性と知り合う事になる。久野久、日本で第一号のクラシックピアニストである。ピアニスト中村絃子の中公文庫「ピアニストという蛮族がいる」その一節に久野久が登場する。彼女は文部省海外研究者として渡欧していた。しかし、彼女が日本で得た名声と自信と夢はことごとく否定されることになる。奥山信吾さんの初代会長の記には次のように記されている。音楽の修業に来ていた女性がおり、気位が高く留学生達に敬遠され彼女はホームシックに悩んでいた。長崎氏はご飯を炊いてすき焼きを作ってやった。彼女は涙をこぼして喜んだという。大正13年12月31日長崎さんは、帰国の途に着く。その船の中で彼女の自殺の知らせを受ける。無理してでも連れて帰るべきであった。そうしておったならば或いは私の人生も違ったものになったかもしれない。中村絃子さんの本を読んだある後日、オービオンにて彼女のリサイタルがあり、演奏前にお会いした。実は・・敬愛する長崎源之助さんという方の人生の中に久野久さんと思われる記述があります……。30周年誌を快くお受け取り頂いた。大きな時を経て三人の方と湯沢RCとのご縁に思いを馳せたところでした。

二つ目は30周年事業西澤潤一さんの講演に至るまでのお話でしたが、紙面の関係もあり次の機会にさせていただきます。

大 懇 親 会

- ❖会長挨拶…松田 圭司 会長
- ❖乾 杯…小田原豊満 パスト会長
- ❖中 締…堀川 俊明 直前会長

